

## 長崎外国語大学 成績評価ガイドライン

判定	評点	評定	f-GP	成績評価内容の基準
合格	90～100	秀	3.5～4.5	授業科目の内容を修得し、その到達目標を優れて満たす。 また、主体的学修の成果も優れて認めることができる。
	80～89	優	2.5～3.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を十分に満たす。 また、主体的学修の成果も認めることができる。
	70～79	良	1.5～2.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を概ね満たす。 また、主体的学修の成果も十分ではないが認めることができる。
	60～69	可	0.5～1.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を必要限度満たす。
不合格	59点以下	不可	0	授業科目の内容を修得したと認められず、到達目標の必要限度も満たさず。

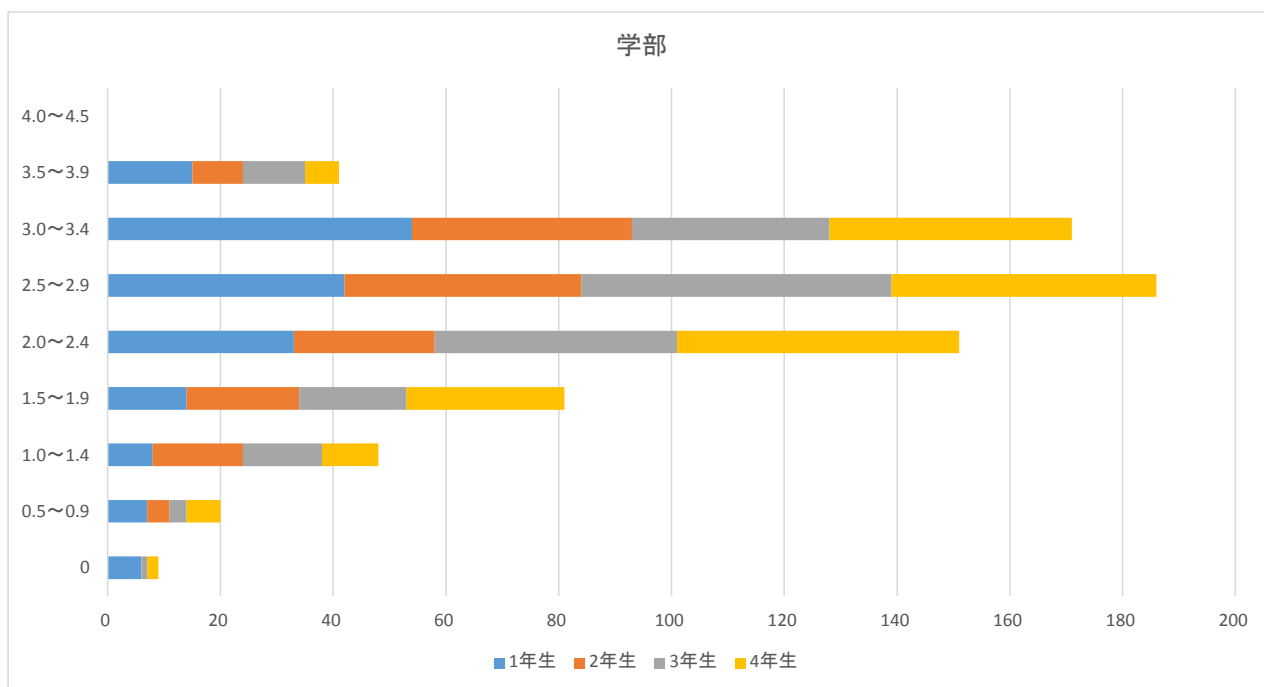
## 2018年度学年別累積「f-GPA」人数表

下位4分の1  
GPA2.2以下

(学部)

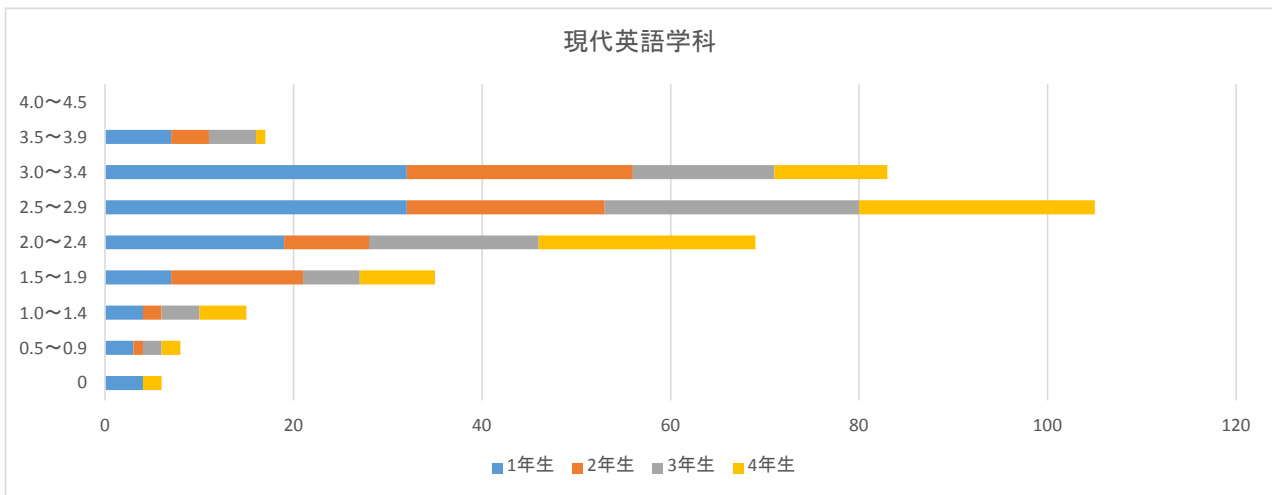
学年	0	0.5～0.9	1.0～1.4	1.5～1.9	2.0～2.4	2.5～2.9	3.0～3.4	3.5～3.9	4.0～4.5	計人数
1年生	6	7	8	14	33	42	54	15	0	179
2年生	0	4	16	20	25	42	39	9	0	155
3年生	1	3	14	19	43	55	35	11	0	181
4年生	2	6	10	28	50	47	43	6	0	192
計	9	20	48	81	151	186	171	41	0	707

※2018年度1年生における下位4分の1：累積GPA2.2以下(44名)



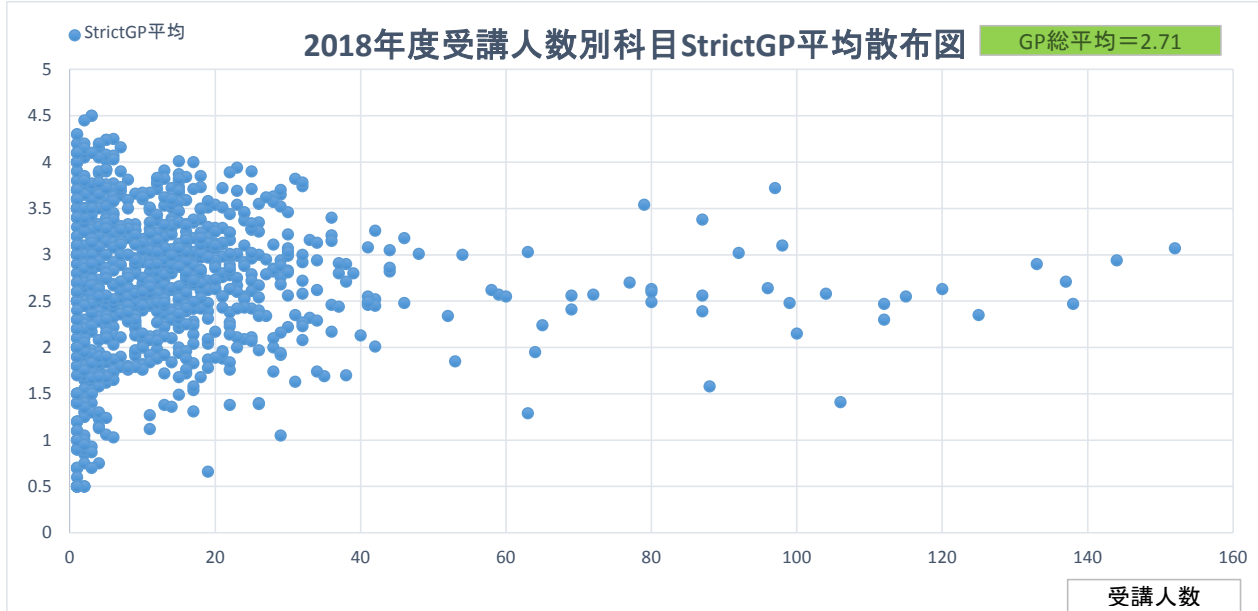
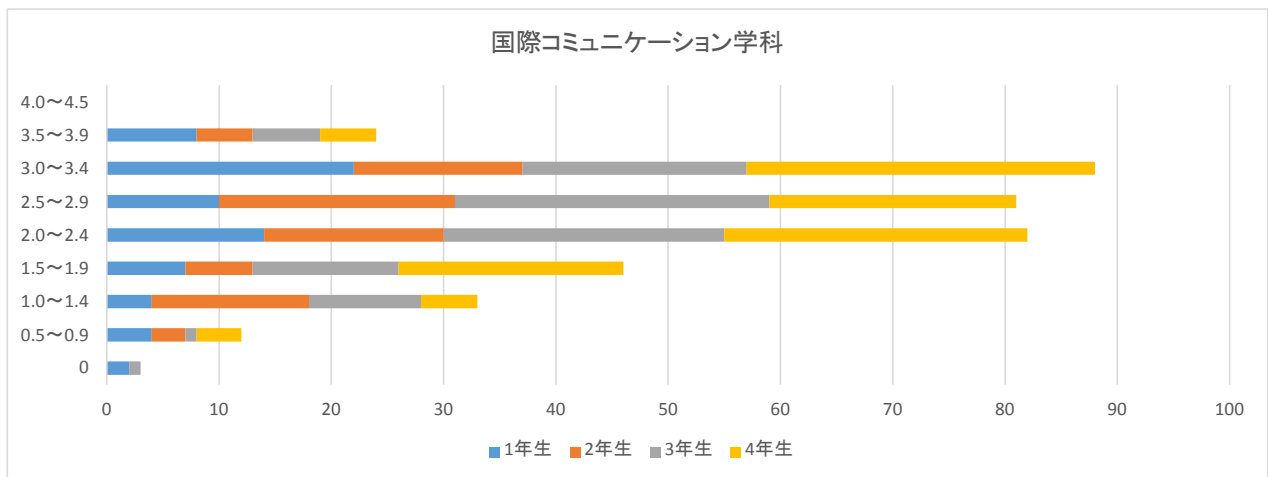
(現代英語学科)

学年	0	0.5～0.9	1.0～1.4	1.5～1.9	2.0～2.4	2.5～2.9	3.0～3.4	3.5～3.9	4.0～4.5	計人数
1年生	4	3	4	7	19	32	32	7	0	108
2年生	0	1	2	14	9	21	24	4	0	75
3年生	0	2	4	6	18	27	15	5	0	77
4年生	2	2	5	8	23	25	12	1	0	78
計	6	8	15	35	69	105	83	17	0	338



(国際コミュニケーション学科)

学年	0	0.5~0.9	1.0~1.4	1.5~1.9	2.0~2.4	2.5~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0~4.5	計人数
1年生	2	4	4	7	14	10	22	8	0	71
2年生	0	3	14	6	16	21	15	5	0	80
3年生	1	1	10	13	25	28	20	6	0	104
4年生	0	4	5	20	27	22	31	5	0	114
計	3	12	33	46	82	81	88	24	0	369



本学では上掲の成績評価ガイドラインに従い、試験、レポート、小テストのみならず、報告・発表、反転授業などのアクティブラーニング手法による授業への参加状況といった、多様な評価方法により、各授業科目の形態、内容、目標に応じ、一つによらず、複数の方法を選択して授業評価を行っている。

以下では上掲の表・グラフの集計結果に基づき、累積f-GPAによる成績分布状況についてコメントを行う。

#### (1) 学部

学部全体では、全学年の合計人数707名の内、508名(71.8%)がf-GPA「2.0～3.4」の範囲に収まった。すなわち、7割を超える学生が本学の評定では「良」から「優」(素点75～89)までの成績を収めていることになる。さらにf-GPA「3.5～3.9」(評定「秀」相当、素点は90～100)の学生は全学年合計で41名(5.7%)おり、これを加えると549名(77.6%)に達する。以上から見ると本学の学生の8割弱は、授業科目の内容の修得及び主体的学修において良好な成果を収めているとみなすことができる。一方、2割強の158名(22.3%)の学生がf-GPA「0～1.9」(評定「不可」「可」「良」、素点で0～74)の範囲となっており、こうした成績不振の学生の成績向上に向けた効果的な施策が求められる。

学年別でみると、1年生は計179名の内、109名(60.8%)が「2.0～3.4」、15名(8.3%)が「3.5～3.9」、これを合計すると124名(69.2%)、「0～1.9」の学生は35名(19.5%)。2年生は計155名の内、105名(67.7%)が「2.0～3.4」、9名(5.8%)が「3.5～3.9」、これを合計すると114名(73.5%)、「0～1.9」の学生は40名(25.8%)。3年生は計181名の内、133名(73.4%)が「2.0～3.4」、11名(6%)が「3.5～3.9」、これを合計すると144名(79.5%)、「0～1.9」の学生は37名(20.4%)。4年生は計192名の内、140名(72.9%)が「2.0～3.4」、6名(3.1%)が「3.5～3.9」、これを合計すると146名(76%)、「0～1.9」の学生は46名(23.9%)。

以上学年別の成績分布状況の結果を見ると、学年間に若干の差異は見られるものの、概ね全学年で見た時と同じ分布状況が認められる。

#### (2) 現代英語学科

現代英語学科の全学年では、合計人数338名の内、257名(76%)が「2.0～3.4」、17名(5%)が「3.5～3.9」、これを合計すると274名(81%)、「0～1.9」の学生は64名(18.9%)。

学年別でみると、1年生は計108名の内、83名(76.8%)が「2.0～3.4」、7名(6.4%)が「3.5～3.9」、これを合計すると90名(83.3%)、「0～1.9」の学生は18名(16.6%)。2年生は計75名の内54名(72%)が「2.0～3.4」、4名(5.3%)が「3.5～3.9」、これを合計すると58名(77.3%)、「0～1.9」の学生は17名(22.6%)。3年生は計77名の内、60名(77.9%)が「2.0～3.4」、5名(6.4%)が「3.5～3.9」、これを合計すると65名(84.4%)、「0～1.9」の学生は12名(15.5%)。4年生は計78名の内、60名(76.9%)が「2.0～3.4」、1名(1.2%)が「3.5～3.9」、これを合計すると61名(78.2%)、「0～1.9」の学生は17名(21.7%)。

以上、現代英語学科の成績分布状況においては、学部全体で見たよりもややf-GPA「2.0」以上の学生が多いということと、学年間で若干の差異が見られるものの、概ね学部全体で見た時と同じ分布状況が認められる。

#### (3) 国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科の全学年では、合計369名の内、251名(68%)が「2.0～3.4」、24名(6.5%)が「3.5～3.9」、これを合計すると275名(74.5%)、「0～1.9」の学生は94名(25.4%)。

学年別でみると、1年生は計71名の内、46名(64.7%)が「2.0～3.4」、8名(11.2%)が「3.5～3.9」、これを合計すると54名(76%)、「0～1.9」の学生は17名(23.9%)。2年生は計80名の内、52名(65%)が「2.0～3.4」、5名(6.2%)が「3.5～3.9」、これを合計すると57名(71.2%)、「0～1.9」の学生は23名(28.7%)。3年生は計104名の内、73名(70.1%)が「2.0～3.4」、6名(5.7%)が「3.5～3.9」、これを合計すると79名(75.9%)、「0～1.9」の学生は25名(24%)。4年生は計114名の内、80名(70.1%)が「2.0～3.4」、5名(4.3%)が「3.5～3.9」、これを合計すると85名(74.5%)、「0～1.9」の学生は29名(25.4%)。

以上、国際コミュニケーション学科の成績分布状況においては、学部全体で見た時よりもややf-GPA「2.0」以上の学生の数が少ないことと、学年間で若干の差異が見られるが、概ね学部全体で見た時と同じ分布状況が認められる。

以上の結果から、本学における成績分布状況においては、全体的にみて7割以上の学生がf-GPA「2.0」以上の成績分布に収まり、おおむね良好な成績を得ていると判断できる。